

住人十色

第99回

1000度を超える熱い戦い 溶接の全国大会で初の栄冠

竹田 拓巳^{たくみ}さん(八幡浜工業高校3年) 内子19番第2



◎最優秀賞を受賞した作品を前にポーズを決める竹田さん。
右手に持つトーチを操作して鋼板をつなぎ合わせ。

八幡浜工業高校で機械土木研究部溶接班に所属する竹田拓巳さん。8月5日に新居浜市で開かれた「溶接甲子園」に出場し、半自動溶接の炭酸ガスアーク溶接部門で最優秀賞に輝きました。

溶接の競技は30分以内に厚さ9ミリの鋼板2枚をつなぎ合わせ、その出来栄えなどを競うもの。例年は各地区大会だけで、全国の高校生が競うのは4年ぶり2回目です。「全国の高校生のレベルが分からなかったのも、とても緊張した」という竹田さんは、「溶接で大切なのは、電流の調整やトーチを動かすスピード。何度も微調整を繰り返して、自分にぴったりのやり方で大会に臨めたのが良かった」と勝因を語ります。

「こんな部活は他にはないので、面白そう」と入部して3年目。大会や資格取得のための練習の他にも、野球のネットの修理や水路のフタづくりなど、面白い活動がたくさんありました。竹田さんは「溶接は簡単そうだけど、とても繊細な作業。夏でも長袖の作業服を着て、集中力を切らさず作業をしなければならぬ。溶接で身についた集中力と忍耐力で、厳しい社会でも活躍できるように頑張りたい」と将来を見据えます。

編集 幸記

▽国体開催まで、あとわずか。季節は秋になりましたが、まだまだアツい日が続きます。これまでに多くの人々が愛媛国体出場を夢を語ってくれました。かなわなかった夢もありますが、その人たちの頑張りも胸に刻んで、応援したいです(裕)

▽内子町では成年男子ゴルフ、ライフル射撃が行われ、全国の強者たちが集います。愛媛県で64年ぶりとなる国体を、ぜひ会場で味わってください。内子町ゆかりの選手たちへの応援もお願いします(航)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

